2026年6月　全国法定伝染病　発症、死亡統計表

病　　名	発症数	死亡数[1]
甲乙丙類総計	1,370,653	2,116
甲乙類伝染病合計	359,654	2,115
ペスト	0	0
コレラ	1	0
- - - - -		
新型コロナウイルス感染症[2]	78,908	1
SARS	0	0
エイズ[3]	4,578	1,583
ウイルス性肝炎[4]	136,295	253
Ａ型肝炎	2,276	0
Ｂ型肝炎	115,796	28
Ｃ型肝炎	14,816	224
Ｄ型肝炎	29	0
Ｅ型肝炎	2,777	1
未分類型	601	0
ポリオ	0	0
ヒト感染新亜型インフルエンザ[5]	2	0
麻疹	76	0
流行性出血熱	366	0
狂犬病[6]	33	23
流行性乙型脳炎（日本脳炎）	1	0
デング熱	255	0
サル痘（エムポックス）[7]	126	0
チクングニア熱[8]	41	0

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）[8]	1,220	66
炭疽	23	0
細菌性・アメーバ性赤痢	3,340	0
肺結核[9]	56,491	183
腸チフス・パラチフス	478	0
流行性脳脊髄膜炎	17	0
百日咳	639	0
ジフテリア	1	0
新生児破傷風	0	0
猩紅熱	2,425	0
ブルセラ症	7,315	0
淋病	12,500	0
梅毒	53,938	5
レプトスピラ症	55	1
住血吸虫症	0	0
マラリア[10]	530	0
丙類伝染病合計	1,010,999	1
流行性感冒（インフルエンザ）	592,906	1
流行性耳下腺炎	7,685	0
風疹	46	0
急性出血性結膜炎	2,069	0
ハンセン病	24	0
流行性・地方性発疹チフス	104	0
黒熱病（カラアザール）	42	0
包虫症（エキノコックス症）	503	0
フィラリア症	0	0
手足口病	257,993	0
その他感染性下痢	149,627	0

重点モニタリングその他伝染病合計[11]	71,066	0
中東呼吸器症候群（MERS）	0	0
エボラ出血熱	0	0
ジカウイルス感染症（ジカ熱）	0	0
ラッサ熱	0	0
水痘	59,438	0
肝吸虫症	11,573	0
ヒト感染豚レンサ球菌感染症	55	0

注：発症数と死亡者数は最終審査日に基づいて統計を行う。

1 伝染病ネットワーク直接報告システムを通して報告された死亡数は中国伝染病死因順位の根拠としない。

2 新型コロナウイルス感染症の死亡例には、新型コロナウイルス感染症による呼吸不全の死亡例および基礎疾患と新型コロナウイルス感染症の合併による死亡例を含む。

3 エイズの死亡数は、これまでに報告された患者のうち当月中に報告された全死因の死亡者数である。

4 ウイルス性肝炎の発症数、死亡数は、A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、D型肝炎、E型肝炎、未分類型肝炎の報告発症数、死亡数の合計である。

5 ヒト感染新亜型インフルエンザが含む病原分類は、H3N8、H5N1、H5N6、H7N4、H7N9、H9N2、H10N3、N10N5、H10N8、EAH1N1、および発見されたその他新しい亜型のウイルス感染である。

6 狂犬病死亡例23件のうち、16件は当月発症、その他7件はそれ以前の発症である。

7 2023年9月20日よりサル痘（エムポックス）が乙類伝染病の管理に加えられた。

8 2026年4月1日よりチクングニア熱と重症熱性血小板減少症候群が乙類伝染病の管理に加えられた。

9 2019年5月 1 日より「結核性胸膜炎」は「肺結核」として分類統計され、「その他法定管理及び重点モニタリング伝染病」の中では報告しない。

10 報告されたマラリア症例はすべて輸入症例である。

11 重点モニタリングその他感染症は2026年1月から公表に組み入れられた。